

市民活動

サポートセンター通信

第50号

2020.4.28



安曇野市市民活動サポートセンター（安曇野市市民生活部地域づくり課内）発行

祝

サポートセンター通信 50号目！

平成27年5月に「くるりん通信」として創刊したこの市民活動サポートセンター通信が、今号で記念すべき50号目を迎えました。そこで、今まで編集に携わっていただいた皆さんにインタビューを行い、編集当時の思い出や本通信への思いをお聞きしました。

市民活動センター職員(当時)の水谷さんに聞きました

くるりん通信 No.1～7

(平成27年5月～平成28年3月)

毎号特集が組まれており、それぞれ

特色のある通信
になっています。



★創刊時、どのような思いで編集をされていたのでしょうか？

・当時は「市民活動センター」という名称で、今のような中間組織ではありませんでした。「市民活動って何？」という疑問から発し、市民目線、市民側に軸足を置きながら、公益性や社会貢献的な活動のあり方、協働の啓発・普及を念頭に情報を組み立てました。

★当時苦勞したことは？

・通信と併行して講座を企画立案・実施しましたが、内容は市民向け講座の色合いが強く、通信は講座内容のエッセイや報告となり、訴求先の市民活動団体が求めていた情報だったか？は疑問が残りました。

★読者の皆さんに向けて一言！

・今の通信は、市民活動団体に向けての情報発信という明確なスタンスです。読者のみなさんには、感想や意見をどしどし寄せてほしいと思います。送り手としても反応が返ってきやすい工夫を通信やHPのコンテンツに盛り込んでほしいと思います。

コーディネーター(当時)の今泉さんに聞きました

★どのような思いで編集されていたのでしょうか？

・市民活動に取り組んでいる皆様にお伝えする情報はどんなものかを決めるのが一苦勞でした。活動を継続するためには「情熱」、「やる気」を保ち、増進することだと考えて、相応しい情報をタイムリーに伝える様に努力しました。

★当時苦勞したことは？

・広報誌を担当するのは初めてのことで、記事を書くのに必要な知識を得るところから取り組みました。参考になったのは市民タイムス編集長の講座で紹介された「記者ハンドブック」です。表記、記述に困ったときは頼りにしました。

★読者の皆さんに向けて一言！

・自発的に取り組む「何か」に出会い、見つけることで日々の暮らしが豊かになると思います。手前味噌で恐縮ですが、身近なところから「まちづくり」に取り組んで頂けると仲間が増えて嬉しいです。

くるりん通信 No.8～37

(平成28年4月～平成31年3月)

情報量がとても多く、市民活動に役立つ情報が満載です。また、数多くの団体取材し、現場の声を多数掲載しています。



コーディネーター(当時)の田中さんに聞きました

★どのような思いで作成されていたのでしょうか？

・市民活動に取り組んでおられる方は大勢いるはずなのに、目を向けられることが少ないと感じていました。市民団体の活動を記事にすることで、より多くの方に知っていただき、さらに団体の皆さんの励みになれば、そして市民活動を活発にしていきたい、という思いで作成していました。また、イベント情報等をいち早くお届けできるよう心掛けていました。

★当時苦勞したことは？

・あらかじめ構成を決め、関連する団体や活動の記事を書くのですが、その活動情報や取材材料集めに苦勞しました。

コーディネーター(当時)の花岡さんに聞きました

★どのような思いで編集されていたのでしょうか？

・携わったのは1年間と短い期間でしたが、センター登録団体を増やし、活動の輪を広げることを心がけ、活動に携わっていました。

★当時苦勞したことは？

・限られた文字数の中で活動団体の皆さんの思いを正確に伝えることが難しいと感じました。

★読者の皆さんに向けて一言！

・できるだけこういった通信などに目を通して、イベント等に参加し、市民活動サポートセンターなどの支援組織を活用してほしいと思います。また思いついたアイデアは口に出して伝えましょう。周りはそれを批判せず、活発に意見が出せる環境が育てばいいと思います。

今まで発行に携わっていただいた皆様の思いを引継ぎ、市民活動に役立つ通信をお届けできるよう頑張ります！皆様もぜひ情報をお寄せください！

安曇野市市民活動サポートセンターの紹介

窓口

市民活動に関する相談やご提案等を受け付けています。

安曇野市役所 本庁舎2階 4番窓口

・平日の午前8時30分～午後5時15分

情報コーナー

イベント情報や助成金情報、市民活動に役立つ情報誌や書籍を設置しています。

安曇野市役所 本庁舎1階 東ロビー

・平日：午前8時30分～午後6時

・休日：午前9時～午後9時

(11月～3月は午後6時まで)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
5/10まで本庁舎休日開放を中止(延長有)
















その他

- ・フリースペース ① 1階くつろぎ広場…パーティションで区切って使用できます。使用後は元の位置に戻してください。無料でWifiを使用できます(登録制) ② 4階パノラマラウンジ
- ・コピー機、印刷機、会議室を使用することができます。(有料・会議室は土日のみ&要予約)



気軽に
ご利用ください！



       新任地域づくり課長 ご挨拶        

4月から地域づくり課長に着任しました高橋延行と申します。日頃から、市民活動サポートセンターの運営につきましては、関係の皆様大変お世話になっております。

現在は、少子高齢化、人口減少など私たちを取り巻く社会環境は大きく変わろうとしており、それに伴う地域課題も多様化しています。団体の活動が活発となり、ひいては、地域課題の解決の一翼を担っていただければと思います。市民活動サポートセンターを、団体の情報発信、他団体との連携の場として大いに利用していただけるよう努めてまいります。



令和元年度に取り組みられた行政との協働事例

安曇野市では他団体とともに取り組んだ事業を協働事例集として公表しています。令和元年度は 33 事業が行われました。その中から 4 事業をピックアップして紹介します。全データを市ホームページで公開していますので、ぜひアクセスしてみてください。【安曇野市 令和元年度協働事例集】で検索🔍

<p>地域で共に生きようフェスティバル 【地域で共に生きようフェスティバル実行委員会、福祉部福祉課】</p> <p>【事業目的】 精神疾患・精神障がいに関する普及啓発に関する活動</p> <p>【事業概要】 パネルディスカッションを通して一般の方にもわかりやすく精神障がいについて学ぶ機会を提供する。安曇野市内の障がい福祉サービス事業所や事業所活動の周知</p> <p>【役割分担】 (一緒にの取組) 事業の開催 (団体側) 具体的な実施計画の策定、イベント運営 (市側) 会場調整・実施計画の策定</p> <p>【協働による成果】 精神保健福祉に係る事業所等の情報共有</p>
<p>「災害時住民支え合いマップ」に関する研修会 【安曇野市社会福祉協議会、福祉部長寿社会課】</p> <p>【事業目的】 災害時に自分の住む地区で、住民全てが安全に避難するための情報を掲載する。地域の状況や問題点を知り、日ごろからの地域の繋がりや支え合いを再認識するきっかけを作る。</p> <p>【事業概要】 災害時にいつ、誰が、どのように安否確認、避難行動の支援等をするのかを考えるため、住民による話し合いを元に書き込んだ地図を作成する。</p> <p>【役割分担】 (団体側) 関係者への通知・研修会主催・社協会費を財源とした特別活動配分金の受付及び交付 (市側) 研修共催、参加・作成相談・マップコピー・作成、更新届出窓口</p> <p>【協働による成果】 社協にはアドバイザーや専門職がいるので実務に直結でき、市は取り組みの補佐的な役割を担い、互いに情報を共有して相談支援体制を作っている。</p>
<p>地域支え合い推進フォーラム</p> <p>【安曇野市社会福祉協議会、JA あづみくらしの助け合いネットワークあんしん、保健医療部介護保険課】</p> <p>【事業目的】 生活支援体制整備事業を活用して、住民主体の取組が進むよう、支え合いの意義や必要性を伝えることで、これからの支え合いの地域づくりを推進する。</p> <p>【事業概要】 地域のつながりと健康長寿を考えるため、講師による基調講演と地域の支え合い活動の実践者の活動報告により、これからの支え合いや助け合いの地域づくりにつなげる。</p> <p>【役割分担】 (一緒にの取組) テーマ・内容・講師等選定などの企画、当日の運営 (団体側) 生活支援コーディネーター・協議体の広報周知。関連団体へフォーラムの周知 (市側) 講師、報告者依頼。予算管理。全体調整、管理。</p> <p>【協働による成果】 地域福祉や地域づくりを進めている団体と協働して実施することで、多様な主体による多様な取組をつなげる、発信することができる。とくに、区を基盤とした支え合いや助け合いを支援していく機会にもなる。</p>
<p>信州安曇野田んぼアート 【信州安曇野田んぼアート実行委員会、商工観光部観光交流促進課】</p> <p>【事業目的】 水田をキャンパスに見立て、色の違う稲で絵を描くアートイベント「田んぼアート」という新しい素材を活用して、「信州 安曇野」の魅力を全国に発信する。</p> <p>【事業概要】 今年度が初開催だったが、北アルプスと屋敷林を借景とした安曇野らしい田んぼアートで県内外から 6 万人以上の来場があった。アート制作段階から市民に参加いただき、地域の連帯感と活性化につながった。田植えイベントの他に収穫祭を行うなど、新たな観光イベントとして盛り上がった。</p> <p>【役割分担】 (一緒にの取組) イベントの企画・運営 (団体側) アートの制作、団体客の誘客、イベントへの参加 (市側) 会場の設営・広報・庶務</p> <p>【協働による成果】 相乗効果により多くの市民・観光客に訪れていただくことができた。</p>

i 情報コーナー

*定員が設けられているイベント等は、必ず主催者にお申込みまたはお問い合わせください。

シニア・ビジネスパーソンボランティア活動助成

- ◆助成対象
シニア：満 60 歳以上が 80%以上のグループ
ビジネスパーソン：会社員、団体職員、公務員、経営者、個人事業主が 80%以上のグループ
- ◆助成内容 次のうちいずれかのボランティア活動
①高齢者福祉に関するもの ②障がい者福祉に関するもの ③子どもの健全な心を育てる交流
- ◆助成期間 令和 2 年度
- ◆助成金額 1 件原則 10 万円、総額 1000 万円
- ◆募集期間 5 月 25 日（月）まで
- ◆運営団体 大同生命厚生事業団

公園・夢プラン大賞

- ◆対象
[実現した夢部門]過去 5 年間に市民が主体となり公園で実施されたイベントや活動
[やりたい夢部門]公園で「やってみたい・できたらいいな」というイベントや公園活用のアイデア
- ◆審査のポイント
[実現した夢部門]公園や地域の活性化に関わったもの
[やりたい夢部門]参加したくなる新しいアイデア
- ◆表彰 部門ごとに賞状+副賞(1~10 万円)
- ◆募集期間 9 月 30 日まで
- ◆運営団体 一般財団法人 公園財団

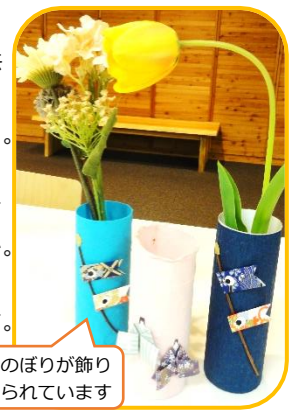
新型コロナウイルス対策特別資金

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市内中小事業者の皆さんを支援する制度です。

- ◆貸付対象者
市内に事業所等を有し、3 か月以上の操業実績があり、次のいずれかを利用する人
①セーフティネット 4 号 ②危機関連保証
③セーフティネット 5 号
- ◆融資の条件
資金の用途：設備資金又は運転資金 限度額：4 千万円
貸付期間：10 年以内 利率：年 0.8% など
- ◆問い合わせ 安曇野市商工労政課 71-2041

お花を飾りませんか☆花器をプレゼント中！

登録団体『いいな安曇野花サロン』様から「明るい話題を提供したい」という思いをこめた、手作りの花器をいただきました。市民活動サポートセンター（1 階東ロビー）で配布していますので、ご自由にお持ちください。（無くなり次第終了）
※無人の場所に設置しています。取り置きも受け付けます。



こいのぼりが飾り付けられています

新型コロナウイルスに関する情報提供

下記の組織や団体のホームページで、新型コロナウイルス感染症対策に関する NPO 法人や市民活動団体向けの情報を随時更新しています。

- ①長野県 県民協働課
[掲載内容]諸手続の案内、国県からの要請、支援策等
[問い合わせ] 026-235-7189
- ②特定非営利活動法人 長野県 NPO センター
[掲載内容]総会等の手続き、国県の支援策、資金調達、職場での感染防止策、オンライン会議などの活用ツール紹介等
[問い合わせ]コロナ対策チーム山室さん 026-269-0015 【受付時間 月～金 10:00～17:00】

編集担当のつぶやき

新型コロナウイルスの影響が深刻です。2 月末に市民活動フェスタを中止した頃は「そのうち収まるでしょ」と思っていたのですが、あれよという間にオリンピック・パラリンピックが延期となり、緊急事態宣言が出され、感染者数は増え続けています。今後どうなるか全くわかりませんが、感染しないよう、させないよう最大限注意しつつ、楽しいことを見つけ、他人への思いやりをもってこの災難を乗り越えられれば、なんて思います。そんな私はここ最近のぽかぽか陽気と道端に咲き誇るたんぽぽに春の訪れを感じ癒されています☺

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催しに、市民活動サポートセンター職員や市民活動サポーターが取材にお邪魔する場合があります。活動の PR にご活用ください。

安曇野市市民活動サポートセンター

住所 〒399-8281 安曇野市豊科 6000 番地
安曇野市役所本庁舎 2 階 地域づくり課窓口
電話 0263-71-2013 FAX 0263-72-3176
メール kururin@city.azumino.nagano.jp

開庁時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
休業日 毎週土・日曜日、祝日
年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日